



IR-REPORT

第24期 事業のご報告

2008年3月1日～2009年2月28日



TOP INTERVIEW

トップインタビュー

Q1 第24期(2009年2月期)の業績概要についてお聞かせ下さい。

A わが国の経済は、サブプライムローンから端を発した世界的な金融不安により、企業の業績悪化や人員削減など先行きの不透明感が日増しに濃くなり、個人の消費マインドも急速に冷え込むなど、特に秋以降の景気は大きな後退局面にあります。シューズ業界においても、買い控えや当用買いなど景気の影響を受け厳しい環境と言えます。こうした状況で、ABCマートグループは、積極的なスクラップアンドビルドを行い、同時に商品戦略においては、商品開発と宣伝販促を強化することで、新たな市場の創出と消費喚起に取り組んでまいりました。その結果、前期の売上高は、前期比9.8%増の、973億41百万円、営業利益は10.8%増の202億23百万円、経常利益は4.2%増の196億10百万円、当期純利益は4.7%増の110億87百万円となりました。

商品別の売上では、昨年に続きレディースシューズが好調でした。認知の高まったハイソールスニーカーやムートンブーツなどがファッショントレンドを捉え、また健康志向を背景にスポーツシューズでは高機能ランニングシューズが、レザーカジュアルではトレッキングシューズが売上を伸ばしました。うす底のパレータイプのレディーススニーカーが好調だったことも、スポーツシューズの売上に大きく牽引しました。

Q2 第25期(2010年2月期)の目標と、その戦略、施策についてお聞かせ下さい。

A 今期も、昨年同様の厳しい経済環境になると考えています。そのため、景況感悪化への対応として、販売力の再強化と新規顧客の獲得に注力して、着実な成長を目指していきます。販売力を強化する為に、研修制度の充実と同時に組織をスリム化することで、本部と店舗のコミュニケーションの強化を図ります。商品戦略においては、自社商品

を中心に新たに廉価商品を開発してマーケットの需要に応え、更に販促と連動させることで新規顧客の創出を目指します。出店は55店舗を計画していますが、利益の見込める、より精査した出店をすることで、自社競争を起さない新しい業態での出店や小商圈への出店も検討しながら社員のレベルアップを図り、全体の販売力の底上げをしていきます。

Q3 昨年「健康志向」を販売のコンセプトにしていらっしゃるようですが、その理由と進捗をお聞かせ下さい。

A ABCマートは、靴の販売を通して、お客様にファッションとしてのライフスタイルを提案してきました。昨年からは、オリンピックや東京マラソンをきっかけにした健康志向の高まりを受けてスポーツエンターテインメント層への提案も始めました。「走る」「歩く」「登る」と3つのテーマを設けましたが、特に「走る」のランニングシューズでは機能説明の出来るようスタッフの勉強会を開き、スポーツメーカーと協同で宣伝販促を行うなどした結果、大きく売上を伸ばすことが出来ました。同時に新規顧客の獲得にもつながったと考えています。今期は、引き続き健康志向をテーマにした売場作りを強化し、ランニングシューズだけでなく、昨年取り込めきれなかった「歩く」「登る」にも注力していきます。

Q4 株主、投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

A 足元の景況感も厳しく、靴業界にとっても難しい舵取りの年ではありますが、社員育成と販売力強化と共に、商品開発、店舗開発にも注力し、全てのパワーを集積させて、増収増益に向けて邁進していきたいと思っております。株主、投資家の皆様には、引き続きご理解とご支援を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

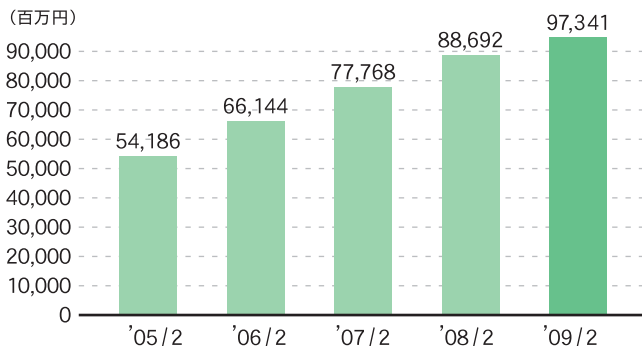
売場最優先で、すべての力を「現場パワー」に集積させて成長を維持し、国内No.1のシューズ専門店チェーンを目指します。

代表取締役社長
野口 実

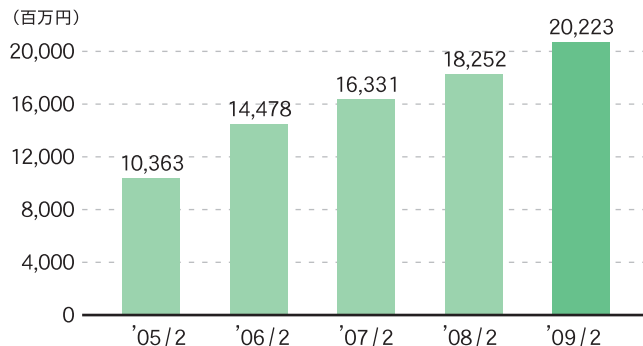


連結損益計算書

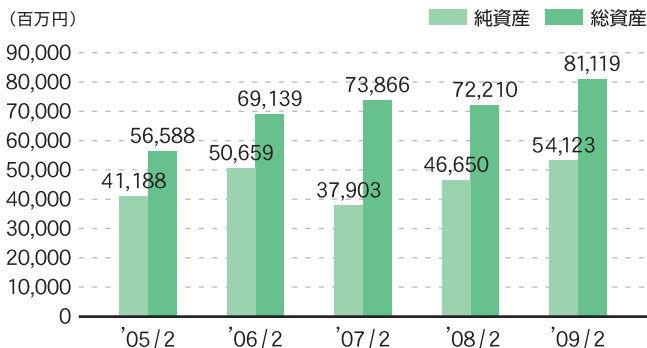
●売上高



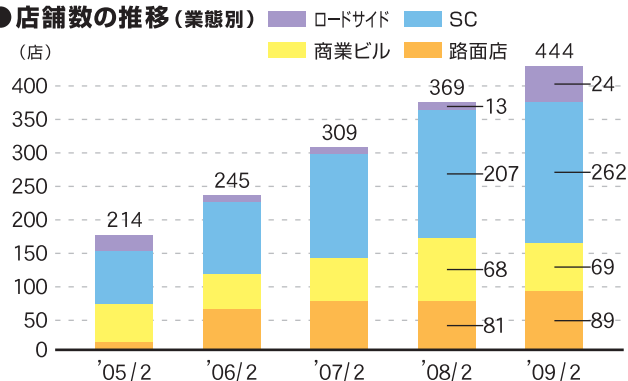
●営業利益



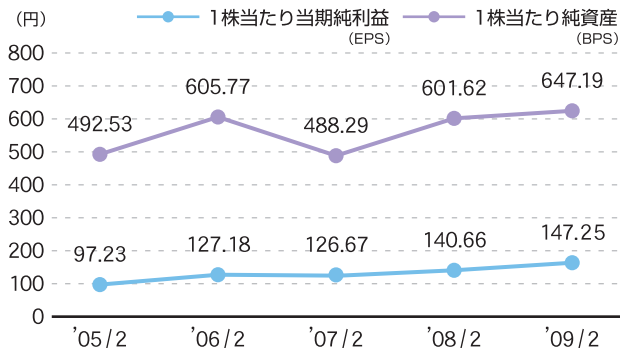
●純資産・総資産



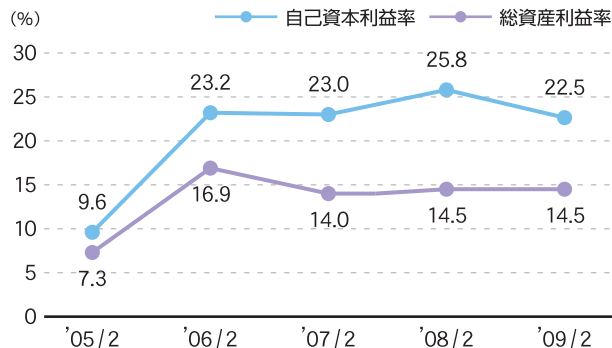
●店舗数の推移(業態別)



●1株当たり当期純利益 (EPS)・1株当たり純資産 (BPS)



●自己資本利益率 (ROE)・総資産利益率 (ROA)



連結財務諸表

(百万円未満は切り捨てて表示しております)

連結貸借対照表

| | 当連結会計年度末 2009年2月28日 現在 | 前連結会計年度末 2008年2月29日 現在 | 増減 |
|-------------|------------------------------|------------------------------|--------------|
| (単位:百万円) | | | |
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | | | |
| 現金及び預金 | 40,384 | 35,526 | 4,858 |
| 受取手形及び売掛金 | 21,654 | 17,511 | 4,142 |
| たな卸資産 | 1,553 | 1,462 | 90 |
| たな卸資産 | 14,428 | 13,785 | 642 |
| 繰延税金資産 | 715 | 705 | 9 |
| その他 | 2,034 | 2,061 | △26 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 | △0 |
| 固定資産 | | | |
| 有形固定資産 | 40,734 | 36,684 | 4,050 |
| 建物及び構築物 | 27,599 | 25,104 | 2,494 |
| 土地 | 7,755 | 6,962 | 792 |
| その他 | 17,202 | 17,057 | 145 |
| その他 | 2,641 | 1,085 | 1,556 |
| 無形固定資産 | 808 | 643 | 164 |
| 投資その他の資産 | 12,326 | 10,935 | 1,391 |
| 敷金保証金 | 10,939 | 9,953 | 985 |
| 保険積立金 | — | 255 | △255 |
| その他 | 1,387 | 731 | 655 |
| 貸倒引当金 | — | △5 | 5 |
| 資産合計 | 81,119 | 72,210 | 8,909 |

| | 当連結会計年度末 2009年2月28日 現在 | 前連結会計年度末 2008年2月29日 現在 | 増減 |
|------------------|------------------------------|------------------------------|--------------|
| (単位:百万円) | | | |
| 負債及び純資産の部 | | | |
| 流動負債 | | | |
| 支払手形及び買掛金 | 26,606 | 25,212 | 1,394 |
| 短期借入金 | 8,900 | 7,253 | 1,647 |
| 短期借入金 | 8,685 | 10,663 | △1,978 |
| 未払法人税等 | 4,747 | 4,234 | 513 |
| 賞与引当金 | 425 | 360 | 65 |
| その他 | 3,846 | 2,699 | 1,147 |
| 固定負債 | 390 | 347 | 42 |
| 負債合計 | 26,996 | 25,559 | 1,436 |
| 株主資本 | | | |
| 資本金 | 53,810 | 45,208 | 8,602 |
| 資本金 | 3,482 | 3,482 | — |
| 資本剰余金 | 7,488 | 7,488 | — |
| 利益剰余金 | 65,157 | 56,554 | 8,602 |
| 自己株式 | △22,318 | △22,318 | △0 |
| 評価・換算差額等 | △507 | 90 | △597 |
| 少数株主持分 | 820 | 1,352 | △532 |
| 純資産合計 | 54,123 | 46,650 | 7,472 |
| 負債・純資産合計 | 81,119 | 72,210 | 8,909 |

ポイント解説

連結貸借対照表関係

資産合計が前期比12.3%増加しております。

- *この主な増減要因は、利益剰余金の増加により、現金及び預金が41億42百万円増加したことによるものです。
- *また、出店・改装による投資での建設仮勘定が15億84百万円増加しております。

連結損益計算書関係

- *当期の連結売上総利益率は、前年同期より0.6ポイント上昇し、56.2%となりました。為替が円高に振れたことによる輸入コストの減少と、プロパー価格での販売が出来たことによるものです。
- *販管費は、前年同期で10.8%の増加となりました。広告宣伝費は、消費の落ち込みへの対策として下期に自社商品の新聞広告を増やしましたが、上期に効率良く宣伝

販促を行ったため、売上高構成比では前期比0.4ポイント減の4.6%となっております。人件費は、計画を超える新規出店で中途採用が増加したため、前期比11.6%増、売上高構成比では0.2ポイント増の12.6%となりました。

- *韓国子会社ABC-MART KOREAの業績につきましては、現地通貨ベースでは計画を超える進捗となっております。WONベースでの売上高は、前期比4割増、営業利益は、前期比2.6倍と、大幅な増収増益となりました。しかし、円ベースでの売上高は前期末に比べ4割程のウォン安が進んだため、前期比16.7%減の69億73百万円、営業利益は、前期比58.4%増の12億67百万円、経常利益は、前期比81.9%減の1億20百万円となりました。

- *当社の個別業績については、売上高は営業収入を含め904億96百万円（前期比12.5%増）、営業利益は186億51百万円（前期比8.2%増）、経常利益は192億14百万円（前期比7.3%増）となりました。

連結損益計算書

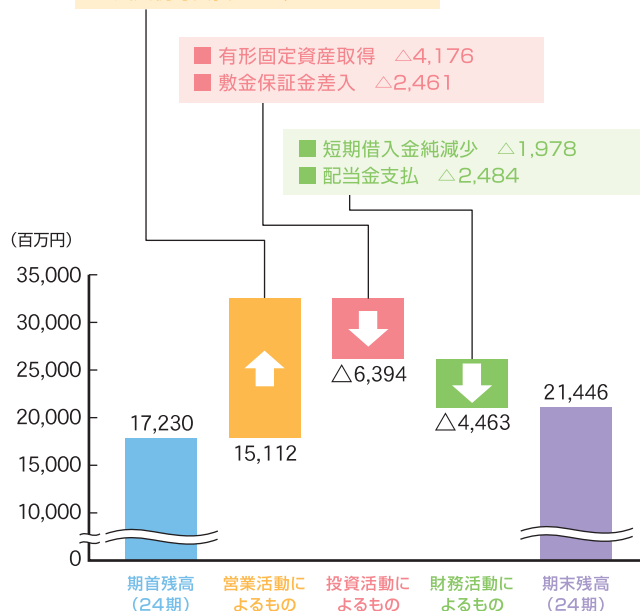
(単位：百万円)

| | 当連結会計年度 | 前連結会計年度 | 増減 |
|--------------|-----------------------------|-----------------------------|-------|
| | 自 2008年3月1日 至 2009年2月28日 | 自 2007年3月1日 至 2008年2月29日 | |
| 売上高 | 97,341 | 88,692 | 8,648 |
| 売上原価 | 42,667 | 39,350 | 3,316 |
| 売上総利益 | 54,673 | 49,341 | 5,331 |
| 販売費及び一般管理費 | 34,449 | 31,089 | 3,360 |
| 広告宣伝費 | 4,466 | 4,430 | 35 |
| 人件費 | 12,058 | 10,793 | 1,264 |
| 地代家賃 | 8,631 | 7,652 | 978 |
| 減価償却費 | 1,543 | 1,372 | 170 |
| その他 | 7,750 | 6,840 | 910 |
| 営業利益 | 20,223 | 18,252 | 1,971 |
| 営業外収益 | 785 | 1,014 | △228 |
| 営業外費用 | 1,398 | 453 | 945 |
| 経常利益 | 19,610 | 18,813 | 797 |
| 特別利益 | 154 | 273 | △118 |
| 特別損失 | 278 | 298 | △19 |
| 税金等調整前当期純利益 | 19,486 | 18,787 | 698 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 8,659 | 8,082 | 576 |
| 法人税等調整額 | △273 | △160 | △113 |
| 少数株主利益 | 13 | 274 | △260 |
| 当期純利益 | 11,087 | 10,591 | 496 |

連結キャッシュ・フロー推移グラフ

●主な増減要因

- 税金等調整前当期純利益 19,486
- たな卸資産増加 △1,121
- 法人税等支払 △8,116



※上記のキャッシュ・フロー区分のほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額△38百万円がありますが、グラフの記載は省略しております。

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (自2008年3月1日 至2009年2月28日) (単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | 少数株主 持分 | 純資産 合計 |
|--------------------------------|-------|-------|--------|---------|--------|------------------|--------------|----------------|------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 2008年2月29日残高 | 3,482 | 7,488 | 56,554 | △22,318 | 45,208 | 42 | 47 | 90 | 1,352 | 46,650 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | — | — | △2,484 | — | △2,484 | — | — | — | — | △2,484 |
| 当期純利益 | — | — | 11,087 | — | 11,087 | — | — | — | — | 11,087 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △0 | △0 | — | — | — | — | △0 |
| 株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額) | — | — | — | — | — | △1 | △596 | △597 | △532 | △1,129 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 8,602 | △0 | 8,602 | △1 | △596 | △597 | △532 | 7,472 |
| 2009年2月28日残高 | 3,482 | 7,488 | 65,157 | △22,318 | 53,810 | 40 | △548 | △507 | 820 | 54,123 |

株式の状況

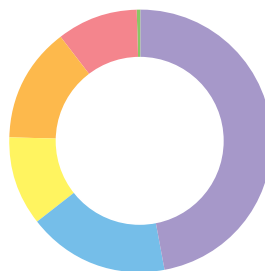
(2009年2月28日現在)

| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 334,500,000株 |
| 発行済株式総数 | 83,627,318株 |
| 自己株式数 | 8,332,750株 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主数 | 5,597名 |

大株主

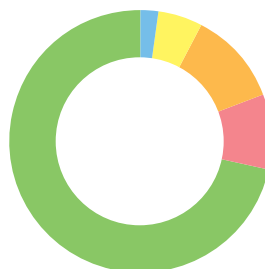
| 株主名 | 持株数(株) | 持株比率(%) |
|--|------------|---------|
| 三木 正浩 | 24,519,000 | 29.3 |
| 株式会社イーエム・プランニング | 14,428,400 | 17.3 |
| 三木 美智子 | 12,584,000 | 15.0 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,672,800 | 3.2 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,615,800 | 3.1 |
| ビービーエイチフォーパリアブルインシュランスプロダクツ エフティスリーエムアイディーキャップポート | 1,457,300 | 1.7 |
| ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント | 1,128,643 | 1.3 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G) | 878,400 | 1.0 |
| 資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口) | 546,900 | 0.7 |
| ミレニアム | 425,500 | 0.5 |

●所有者別株式分布状況



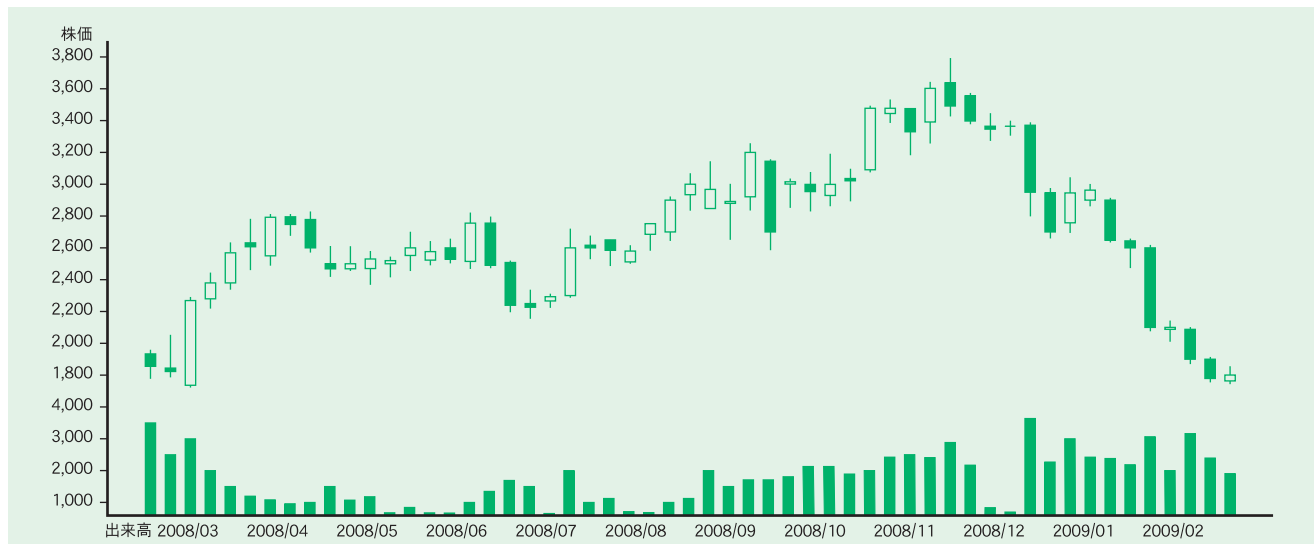
- 個人・その他 (46.86%)
- その他の法人 (17.35%)
- 金融機関 (9.34%)
- 外国法人等 (15.69%)
- 自己名義株式 (9.96%)
- 金融商品取引業者 (0.80%)

●所有株式数別株式分布状況



- 1単元未満 (0.00%)
- 1~99単元 (2.37%)
- 100~999単元 (6.42%)
- 1,000~9,999単元 (10.21%)
- 10,000~49,999単元 (9.42%)
- 50,000単元以上 (71.58%)

●株価チャート・出来高推移グラフ



会社の概要・お知らせ

(2009年2月28日現在)

会社の概要

| | |
|--------|---|
| 社名 | 株式会社エービーシー・マート |
| 本店所在地 | 東京都渋谷区神南一丁目11番5号（登記上の住所） |
| 設立 | 1985年6月6日 |
| 資本金 | 34億8,293万円 |
| 従業員数 | 4,716名（うち契約社員1名、アルバイト2,810名） |
| 事業内容 | 靴・衣料・雑貨などの小売 靴の商品企画および輸入販売 各種ブランドのライセンス事業 |
| 事業所 | [本社] 東京都渋谷区 [店舗] 北海道18、東北22、東京68、その他関東135 中部56、関西54、中国・四国26、九州・沖縄65 計444店舗 |
| 取引銀行 | みずほ銀行/三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行/りそな銀行 |
| 主な関連会社 | ABC-MART KOREA, INC. |
| URL | http://www.abc-mart.com/ |

役員

(2009年5月28日現在)

| | |
|---------|-------|
| 代表取締役社長 | 野口 実 |
| 専務取締役 | 中尾 徹 |
| 常務取締役 | 吉田 幸枝 |
| 取締役 | 金城 正宏 |
| 取締役 | 勝沼 清 |
| 取締役 | 小島 穰 |
| 取締役 | 菊池 孝 |
| 監査役(常勤) | 秋元 英夫 |
| 監査役 | 林 豊 |
| 監査役 | 上原 敬三 |

お知らせ

株主優待

毎年2月末日現在の株主および
実質株主に対し、優待券を年1回、
以下の基準により贈呈いたします。



贈呈基準 / 所有株式数100株（1単元）以上300株未満保有の株主様に対し、3,000円（1,000円割引券3枚）、300株以上保有の株主様に対し、5,000円（1,000円割引券5枚）の当社優待券を贈呈いたします。

利用方法 / お買物金額（税込）5,000円毎に1枚ご使用いただけます。1回のお買物につき、最大5枚まで使用可。ただし、他の割引券等との併用はできません。

有効期限 / 翌年2月末日まで有効

取扱店舗 / 「ABC-MART」、「GALLOP」、「NUOVO」、「コルソナブレオーネ」、「HAWKINS」、「VANS」各アウトレットおよび「WORLD SPORTS PLAZA」の国内における全店舗

ABC-MARTのネット通販

アクセスは
www.abc-mart.netへ!
(24時間OPEN)



IRサイトのご案内

投資家の皆様には正確な情報を迅速にご提供し、当社の現況や将来のビジョンをご理解いただくために、IRサイトを開設しています。連結業績や決算資料のみならず、当社の成長戦略についてもご覧いただけます。



URL:<http://www.abc-mart.com/>
の「▶ 企業・IR」から

株式メモ

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 3月1日～翌年2月末日 |
| 期末配当金受領株主 確定日 | 2月末日 |
| 中間配当金受領株主 確定日 | 8月31日 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 定時株主総会 | 毎年5月 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL / 0120-232-711 (通話料無料) URL / http://www.tr.mufg.jp/daikou/ |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 市場第1部 (証券コード 2670) |
| 公告の方法 | 電子公告により行う 公告掲載URL / http://www.abc-mart.com/ (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株主に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社エービーシー・マート

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号
渋谷マークシティ ウエスト19階

TEL / 03 (3476) 5452

FAX / 03 (3476) 5462

<http://www.abc-mart.com/>